

③
応報

たまがわ

'92

2

No. 306

久しぶりの大雪
交通機関などにはとても迷惑ですが、
独特の趣おもしろさも見せてくれます

(平成4年2月1日 乙字ヶ滝)



海を越え過ぎた充実の10日間

ふるさと創生事業海外派遣
オーストラリア・ニュージージーランド研修

ふるさと創生事業の海外派遣研修（オーストラリア・ニュージージーランド研修）が、平成3年11月13日から11月22日までの10日間の日程で行われました。国際感覚を養い、国際化時代に対応できる人材を育成し、村の振興発展に尽くすことを目的とした研修には、各団体からの推せん者ら17人が参加しました。参加者それぞれが感じてきた事、考えた事などが寄せられましたので研修の様子と合わせて紹介いたします。



モンゴメリファーム

研修参加者		(敬称略)
蔵子男行卜謙好夫司	石鈴渡大永関大神真	事務局
清三利孝コ	井木 辺木林根越枝弓	
三		
夫夫喜勝子ヨ直章	次正金豊 ルチ安義	
田木林藤 田釜久野	車鈴小佐車須佐奥	
長員		
三		
三		
三		
三		
三		
三		
三		
三		
三		
三		

牛肉を食べてみて



鈴木正夫さん

オーストラリアの牛肉産業は今、大きく変わり始めています。牧草肥育で代表される「安い

固い牛肉」から、「柔らかい牛肉」作りに転換する動きが急速に表われているのです。一部の畜産農家と商社の間では「柔らかい牛肉」作りに欠かせない穀物肥育が始まっています。「安くて柔らかい牛肉」であれば最高です。又、牛肉の価格は、精肉売場を視察すると、普通の牛肉なら日本円で1kg五百円から、柔かいステーキ用でも、1kg千円前後で、日本の五分の一から十

分の一程度の値段です。これには驚きました。また、鶏肉が牛肉より高く感じました。アコナ農場、モンゴメリ農場を訪れた時に食べたステーキは、塩・コショウとバターの簡単な味付けで焼いただけの物でしたが焼きたては本場の味をたんのうでできました。しかし、冷めると肉の固さが少々気になりました。

心の明るさに感動

広大で緑一面の牧草地に、のんびりと自由に生きてる羊牛馬の姿が特に印象的でした。町はゴミ一つなく、美しい花を庭いっぱい咲かせ、芝生と並木道が調和したきれいな町でした。日本車が多く、車は道路の左右に駐車してあるのに驚きました。レンガ造りの家が多いのは台風や地震がないからだそうです。町の人は、仕事よりも家造りや家族と食事に時間をかけるという事が、羨ましく思えました。また、人と人とのふれ合いの尊さ



大越好さん

が心に強く感じられました。自分が最高の愛想で挨拶するとそれ以上笑顔と明るい返事が返ってくるのです。言葉は通じなくても心は通じるんだと感動の10日間でした。国際化に向け玉川村の第一印象が、これからの村の発展につながると思います。明るい村で迎えてあげたいです。

研修のあしあと

11月13日 午後1時30分玉川村を出発。午後8時30分成田からカンタス航空でオーストラリアシドニーへ。
11月14日 午前8時30分シドニー空港到着。午前11時50分シドニー空港からニュージージーランドオークランドへ。午後4時オークランド空港到着。午後6時40分オークランド空港からクライストチャーチへ。午後7時55分クライストチャーチ到着。午後8時30分シャトウホテル着。
11月15日 午前7時50分ホテル

地域一体の環境づくりに感心

とてもきれいな両国でした。これは風景がきれいだったというのではなく環境がきれいだったということです。各家の窓や庭には、きれいに花が咲き、芝生や木にも手入れが行き届いています。毎年ガーデンコンクールを行うようですが、そればかりでなく一人ひとりが家や地域環境を大切にしています。そして何より日本のどこでも見かけるゴミや空カンが一つも落ちていません。改めて、私達日本人のマナーの低さを痛感しました。また、大気汚染もあり、暖炉も使えなくなるかも知れないとのこと。すべての環境を大切にしている心があります。日本を外から見ると、良い面と悪い面を知る良い機会になりました。



永林コトさん

せん。改めて、私達日本人のマナーの低さを痛感しました。また、大気汚染もあり、暖炉も使えなくなるかも知れないとのこと。すべての環境を大切にしている心があります。日本を外から見ると、良い面と悪い面を知る良い機会になりました。

計画的な町づくりの必要性を感じた

研修はニュージージーランド・オーストラリアの順番に視察しましたが、ニュージージーランドは人口が少なく、また雨が少ないわりには地下水は豊富で、酪農や果樹園には理想的な環境ということでした。ただ、若者が農業を敬



関根謙さん

避しているということ、「いったい何がそうさせているのか」と考えさせられました。また、ニュージージーランドの町並みですが、これは、他人に見せるということを意識してでしょうか、手入れがいきとどいており、とても美しく感じました。両国とも、歴史が浅く手本となる国も多く、そういう意味では長期的な眼で町づくりをやるのでしょ。日本においても、これからは環境問題を含めて、計画的に町づくりを行なわなければいけないと思いました。

徹底した街のきれいさ

まず緑の美しさには驚きました。どこにいても日本のゴルフ場のように、手入れしてあつてきれいです。その中で、ゴミ一つない街並み、車の中では、飲料水はダメ、タバコは禁煙、シートベルト着用と、徹底しています。ニュージージーランドとオーストラリアの二カ国ともきれいでした。国の情勢は、日本の農業、企業のように、いいものを作る技術は少し落ちるようです。数を多く作ってその中から選ぶというやり方で日本のような規格にあ



渡辺利男さん

わせるのは時間とロスが出ます。残業はしない、学校も週休二日制を実施して、年に一回は一カ月間の休みをとってバカンスを楽しんでいます。オーストラリアの中に、日本人みたいに働く人達はいないので、これから、20年30年先は、国が大変だなあと感じました。

高負担で高福祉の国

収入の30%が税金、残りの70%から自分で健康保険に加入しています。家族手当も無ければ交通手当などももちろんありません。失業すれば翌週から保険が給付され、働かなくても生活していける国オーストラリア。



小林金喜さん

でも高負担高福祉制度が労働意欲を減退させています。農業面においても家族経営で、ここ数年、兼業農家に方向転換しているか、観光農園に方向転換しています。今の状態ならば日本の農業は心配いらないと思えます。しかし、危機感をもたなければいけないと考えます。子供達の食生活、ファーストフード、インスタント食品等による舌の衰え、また、アジア諸国の農業生産力、日本人向けの品種改良の努力があるためです。南半球を視察研修をして、国際的な視野に立てたように思えます。

発テイマル市へ。午前11時テイマル郡役所で市の概要について対話をする。午前12時20分テイマル市男子高等学校訪問。六・二・五の13年間は義務教育とのこと。午後1時30分テイマル市老人ホームを訪問。午後9時10分ホテル着。
11月16日 午前中にカンタベリ博物館、ノミノ市、ザカテドラル大修堂院・タカヘ城を見学。午前12時30分クライストチャーチよりオークランドへ。午後1時40分オークランド着。午後2時5分オークランドからモンゴメリファームへ。ファームは観光農場で7・61エーカーの土地で羊2,500頭、小羊400頭、肉牛400頭、馬30頭を経営している。午後8時30分ハミルトン着。
11月17日 午前10時20分アコナ農場を視察。キーウイとアスパラガスを栽培している。午前11時50分アスパラガス・キーウイの選別工場を視察。午後2時オークランド博物館を見学。午後8時30分エアポートホテル着。
11月18日 午前8時30分オークランド空港よりオーストラリアメルボンへ。午前11時55分メルボン到着。メルボン市内視察。午後1時5分コモハウス（貴族

環境づくりをしてみたい



車田ハル子さん

青い空と緑の土地が一つに重なり合って、素晴らしい風景に住む人たちはすべてにおいておおらかで、ユーモアに溢れている国民でした。週末は庭の手入れや家族で郊外へ出かけ、余暇を楽しむ

ため、車はかかす事が出来ないものです。各家庭には、キャンピングカーが有り、車の後には、けん引用のフックが取付けられています。

車は日本車が二カ国共大半で5年・10年前のが、大事に使用されており、中には、ボンネットが無いまま走っていたりします。余り外見にとらわれず、実用性を第一に考えていると思えました。各道路も自然を十分に利用をして広くまっすぐで、沿道には、ごみなども無く気持良く走れます。私達も見習って環境作りをしたと思います。

住んでみたくなる国々



佐藤豊勝さん

機内から見下ろすと国自体が国立公園のように美しい。そんな第一印象でした。しかし、美しさを保つためのルールは厳しく様々な規制がありました。暖炉の使用禁止もその一つです

が、地球規模で考えられる環境保護でもあるようです。

牧場経営の現状は日本と同じく後継者不足があり、また、干ばつや相場の下落で楽観できない状況です。その中で商社が中心となり牛の品種改良も行われていますが、日本の和牛に匹敵する牛は望めないようです。日本の農家は安泰といったところですが、逆にオーストラリア・ニュージーランドの畜産農家の努力を期待したいと思えます。しかし、気候、風土の良さと文化、環境、福祉の充実等を考えると住んでみたくなる国々でした。

地域住民の努力が光る

美しい環境

クライストチャーチからバスでカンタベリー平野をへて、最初の視察地のテイマル市へ向かう途中の自然環境のすばらしさに、まずは感動しました。テイマル市庁舎訪問では生活環境問題などを質問しましたが、日本のどこの町でもゴミの問題が深刻なのに、ここでは問題がないとの答えでした。人口が少ないだけではないと思います。町並みの美しさは地域住民の努力の積み重ねであると同時

に、自然保護と景観を守るのには、そこに住む人々の責任であり、自然を大切にする心があれば、いつまでも美しい町並みが保たれるという実状に心打たれました。いつかもう一度この美しい地に足を運びたいと思います。



石井清蔵さん

あの広々とした土地で農業ができたら幸せ

街並みや各家々の庭の美しさに、とても感動しました。街頭美化コンテストが開かれるとはいえ、四季折々の草花が花壇を飾り、庭木も丹念に手入れされています。規則があるからやっているのではなくて、人々は自分たちの意志でそうしているように感じました。モンゴメリ牧場では、手作り料理でもてなしを受けました。料理もとてもおいしかったですが、客人への接し方の明る

さにも驚きました。私たち日本人もあのようになりたいかなければと思います。広々とした大地を研修して、日本のような狭い土地で農業をするよりも、あのような広々とした土地で農業ができたら幸せだなあと思いました。



鈴木ミヨ子さん

我々の選択はまちがっていなかった



佐久間安直さん

オーストラリアの農産品に国際競争力があるのか、また、日本企業が経営するフィードロッド方式による牛肉生産の状況等について質問しました。説明によると原料に近いものはあるが

高品質、高規格のものはない。また、日本企業が経営する牛肉生産も大苦戦しているとのこと。肉質についても日本のホルス肥育の並以下で中以上は望めないとのことでした。これらのことから、日本の青果及び肉市場に直接影響を及ぼすまでにはいかないたの説明を聞くことができました。我々が今までやってきたこと、我々の選択はまちがっていなかったと安堵することができ、自分の仕事に自信をもつことができました。

生活の中に気持ちのやすらぎの場を求めたい



須釜ミチヨさん

ニュージーランドの家々には、必ず庭に芝生が張られ、周りには樹木が植えられており清潔感が感じられました。また、働くばかりではなく、生活にゆとりがあります。食事

きれいに刈込まれている街並は、まるで模型で作られた様にとてますばらく見えました。ひとつの事業に対し、理解して参加し協力し合えば、私達も何かを生み出せるのではないのでしょうか。私も今度の研修で得た事を基に、村づくり、地域の活性化のために少しでも役立ちたいと努力を続けていきたいと思います。



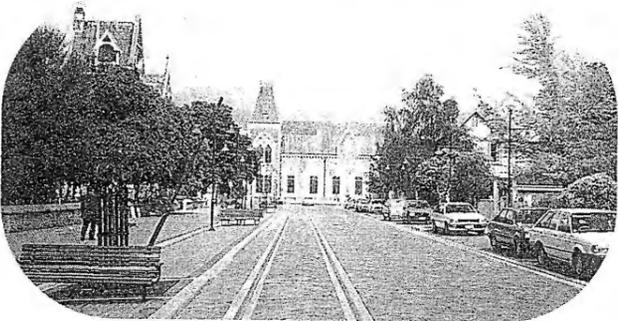
アコナ農園前で

理解・参加・協力で何かを生み出せる

今回、村のふるさと創生事業である海外研修へ参加し、ニュージーランド・オーストラリアを視察して、いろいろな面で勉強し、感動し体験してきました。特にクライストチャーチで行なわれているフラワーコンクールに対して、すべての家庭が参加し協力して創る美しい街が印象に残っています。街はそれぞれの家が回りを囲んで囲み、区画が整然とされており、その中にあるすべての家の庭で美しい花が咲き誇り、芝が



大木孝行さん



クライストチャーチ市内

に時間をかけ、話し合いの場を大切にして、人間関係、気持ちのつながりをとても大事にしていると思えます。週末には、家族全員でレジャーを楽しみます。これも、家族同志の人間関係などを円滑にするためのものかなと感じました。いづれにしても、気持ちにやすらぎのある事は、今の生活の中にとっても大切な事だと思えます。この研修の経験を生かして私の生活の中にも「やすらぎ」を求めたいと考えています。

社会保障の充実と生活環境の整備

奥野義章

高負担によるとはいえ、社会保障が充実していると感じました。医療の無料化、年金制度、老人ホームの整備、失業保険の給付等を見て、そのすばらしさを感じる事ができました。生活環境の面をみると、住宅は30〜40坪ですが必ず庭園があります。塀の高さが180cmと決められており、自分だけが楽しむ庭ではなく、通行人も楽しめる

ように配置されています。景観整備の観点からも見習う点が多いと感じました。また、道路も広く必ず並木や芝生があります。この清掃管理はボランティアが行っていることを聞いて、とてもすばらしいと思えました。ゴミや空カンが落ちていないのは制度があるからだけでなく、人々の心がそうさせているのだとつくづく感じました。

ニュージーランドの社会保障

柳枝徳夫

ニュージーランドの一人当たりの平均月収は約20万円と日本とほぼ同じです。高齢化も進んでいるため年金の支給が来年度から65才となるそうです。社会保障については国や行政に依存するのではなく、教会やボランティア団体が寄附金を募って生活困窮者を支援、介護しています。この奉仕の精神は子供のころから家庭や教会で培い、心のステータスとしています。今後、日本も高齢化が伸展する中で在宅福祉を推進するためには、家庭だけの介護には限界があります。地域でのボランティア活動が無理なく、さりげなく、互いに助け合って生活できるような村づくりをしなければならぬと思います。



自分の後ろ姿にも 自信をもって生きたい

1992年1月15日(成人の日) 村就業改善センターにおいて、平成4年成人式が行われ新成人105人が大人の仲間入りをしました。華やかな振り袖や真新しいスーツを身にまとった成人者の姿は、すでに立派な大人です。姿ばかりでなく意識も立派な大人だという自覚を成人者自身も持つ事、そして成人者を見つめる私たちもその事を認識する事が、彼らを大きくするよう思えます。今年の式の様子などを紹介します。



新成人100人が出席

1月15日(成人の日)平成4年成人式が村就業改善センターで行われ、成人該当者105名中100名が出席し「はたち」の自覚を新たにしました。

式では、はじめに車田次夫村長が「来るべき21世紀は間違いなく皆さんの時代。激変する世の中に対応しうる自覚と責任をもって、大きくはばたくことを期待します」と式辞を述べ、代表の永林ヒロ江さん(中)に成人証書と記念品が贈られました。

このあと、佐久間倉太村議会議長・鈴木廣一村選挙管理委員長・渡辺隆司村青年団連絡協議会長から、それぞれはなむけの言葉が贈られました。これに呼んで新成人者を代表し国井正四さん(南須釜)が「玉川村を支えていく若い力となり、新しい



代表で証書を受け取る永林ヒロ江さん

君たちが生まれた時代

今回の成人者が生まれた昭和46年・47年の主な出来事をあげると、沖縄の返還協定の調印式、ニクソン大統領のドル防衛政策、「円」の変動相場制への移

行などが行われた年でした。また、民間機と軍用機との衝突事故では最大の、岩手県雫石上空での飛行機衝突事故もありました。県内では、夏の甲子園大会で磐城高校が準優勝、また、東北歯科大学(現・奥羽大学)が開

二十歳の感想文

成人対象者全員に募集した「二十歳の感想文」。今回は6人が寄せてくれましたので、ご紹介します。

「可能性への挑戦」



佐藤美羽さん(萩)

幼い頃、成人の日を迎えられた方々が、とても大きく大人びて見えたのを覚えている。時が



流れるのは本当に早いもので、あの頃の私が、憧れ続けた成人の日を迎えようとしている。今の子供たちの目にも、あの時感じ得たような姿に、私たちが映って見えるのであろうか。二十歳を目前にして、ふと十代の自分を顧みたら、「今の自分に対して何か誇れるものがあるだろうか」あれこれと思い巡らしてはみたものの、「これ」という決め手がない。しかしながら、自己における変化があったことに気付いた。親元を離れて暮らすようになり、何度となく戸惑いを感じながら、親のありがたさ、家族の暖かき、自分の甘えを痛感したのである。しかし、今では、多少ではあるが対処の仕方にも慣れてきたつもりでいる。

二十歳に突入した今、十年後

「人間関係を大事にしたい」



石森吉男さん(岩法寺)

平成四年一月十五日、二十歳すなわち成人になる日です。一言に「二十歳」といっても、成人



添田昌稔先生の講演

これから生活していくうえで、様々な人と出会うと思いますが、今までより、より以上に人間関係を大事にし、社会から評価されるように自覚を持った行動をとっていききたいと思えます。

「追いつき、追いつく気持ち」



阿部久美子さん(南須釜)

十月に私は、晴れて二十歳の誕生日を迎えてもう二十歳という年齢には慣れてきているころなのですが、やはり「成人式」というひとつの儀式を行わなければ二十歳を迎えた実感湧いてきません。成人式が終わってからは「やっと二十歳」、「もう二十歳」と思う人が多いと思います。

二十歳といえば、人生のひとつの区切りであると思います。社会で認められ社会人の仲間入りすることができず、私はまだ学生で、今年四月に新社会人になるわけですから、まだまだ自立心が足りません。友達も多くは社会人三年目を迎え、私の大先輩になります。休みに帰ってきて久しぶりに友達に

会ってみると、やはり私は親に頼って生活しているので考えなどが甘く、まだまだ子供だなあと会う度にいつも思います。成人式を迎えますが、私の自身の成人式はまだ先のことになってしまいそうです。しかし、友達に負けられないような社会人となり、追いつき、追いつくような気持ちを持って頑張っていきたいと思っています。

「村が大好き」



渡辺 正隆さん (中)

成人、すなわち大人になると言うことは、基本的な教養を身に付け、物事を冷静に正しく判断し、成人として責任と常識をもって行動する事だと思えます。

県立石川高等学校を卒業した私は、家業を継ぐために「修業」と言う課題を背負って、東京の真ん中に放り出されました。慣れない東京で、何かと戸惑うことの多い毎日でしたが、高校時代、野球部で鍛えた根性と体力で、一人前の職人を目指すため

工事現場で日夜働きながら、専門的知識と技術を身に付けるために、職業訓練校で学んでおります。そして、一日も早く社会が求める技術者となるために、努力している毎日です。

騒音公害と排気ガスで汚れた空気の中、汗とほこりにまみれながら働いている私にとって、豊かな自然に囲まれ、静かで温かみのある玉川村は、自慢の故郷なのです。私は、そんな村が大好きなのです。しかし、そんな自慢の故郷も村の発展と共に騒音公害などの問題が起きてくるかもしれないが、玉川村の発展のためにはやむを得ずと私なりに考えています。

福島県の重要な役割を背負って大きく発展する玉川村と共に、私も成人の年を機会にもつとスケールの大きい人間になるため、進んで苦勞し、自分に厳しく、他人に優しく、目標に向かって積極的に突き進み玉川村民として、自信を持って社会の荒波に立ち向かっていきたいと思えます。

地域の皆さん、成人を祝っていただき、本当にありがとうございます。

「精神面での成長に努めたい」



小針美由紀さん (川 辺)

私の家には、一本の古いカセットテープがある。まだカセットテープが珍しかった頃、父が購入して私の家族の声を録音した物だ。以前、片付けをしていた時何気なくかたづけたその古いカセットテープには、無邪気にはしゃぐ幼い頃の私の声が記録されているのだ。

スピーカー越しに流れてくる幼い自分自身の声に、戸惑いと恥じらいを感じながらも、不思議と熱いものが胸を突き上げてきて、視界がぼやけてしまった。カセットの中ではしゃぐ幼い私と、それを聞いている大人になった私。こんな頃もあったのだと、よくここまで大病もせず来たものだと、様々な思いが走馬灯のように私の脳裏を駆け回った。

幼なかつた日々、両親に反発ばかりして自分一人で大きくなったような気がした頃もあった。「尊敬する人」の欄に「両親」

と書くことができない頃もあった。しかし、二十歳の今思うことは、「両親への感謝」である。健やかな心と体でもって、二十歳の日を、成人の日を迎えられたのは、取りも直さず今日まで慈しみ育ててくれた両親のおかげである。

成人の日、両親の用意してくれた晴着に袖を通すことのできる喜び、古いカセットテープの中ではしゃぐ私には、いつかこんな日が来ようとは、予想もできなかったに違いない。両親が与えてくれた心と体で、地域社会を構成する一員として、社会に貢献できる人間になれるように精神面での成長に努めたい。

「感動する気持ちを大切に」



国 井 正 四 さん (南須釜)

月日のたつのは早いもので、私も無事成人式を迎えることができました。

私が学生の時は、二十歳の人を見ると、随分大人だなあと感じたのですが、いざ自分がその年になってみても、大人と



人はいく「成人になったのだから……」と言いますが、成人式を迎えたからといって人そのものが変わるわけではありませんが、自分に対する他人の見方が変わり、当然厳しく評価されると思います。「今の若者は……」ということが、よく聞かれますが、人に迷惑をかけない自立できる人間になりたいと思えます。

人は何かに打ち込んでいる時は輝いて見えます。物事を真剣に考え、一生懸命に努力する姿も美しいものです。美しいものを見たり、良い話を聞いた時に「ああ、いいなあ」と感動する気持ちを大切に、良き社会人となるように努力していきたいと思えます。

あなたの一票が玉川村を築きます

3月22日

玉川村議会議員選挙の投票日

任期満了による玉川村議会議員一般選挙が、3月17日に告示され、3月22日(日)に投票が行われます。

この選挙は、これからの村づくりを任せる議員を選ぶ大切な選挙であり、私たちにとって身近な選挙といえます。

有権者一人ひとりの正しい判断で自覚ある一票を投じたいものです。あなたの一票が新しい玉川村を築きます。

次の点に注意し、棄権しないで投票しましょう。

投票できる人

昭和47年3月23日までに生まれた人で、平成3年12月16日以前から引き続き村内に住所があり、住民基本台帳(住民票)に登録されている人。

村内で転居された人

選挙人名簿に登録されている人で、平成4年3月1日以降に村内転居された人は、旧住所地の投票所で投票することになります。

投票時間

各投票所の投票時間は、午前7時から午後6時までです。

当日投票できない人は不在者投票を

選挙当日、何らかの都合で投票所に行つて投票することができない人は、不在者投票がで

ます。

●投票できる期間

告示日(3月17日)から投票日前日(3月21日)まで

●投票時間

午前8時30分から午後5時まで

●投票場所

玉川村役場(小高字中畷9)

●持参するもの

入場券と印鑑

※投票は土曜日も行なうことができますので、大切な一票を無駄にしないで投票して下さい。

●問い合わせ先

ご質問等がありましたら、気軽に役場総務課(☎571310

1内線24番)にお問い合わせ下さい。

選挙人名簿の縦覧期間は平成4年3月17日・18日の2日間です。なお、縦覧できる時間は午前8時30分から午後5時までとなっております。

選挙人名簿の縦覧期間

期間は 3月17日・18日

選挙人名簿の縦覧期間は平成4年3月17日・18日の2日間です。なお、縦覧できる時間は午前8時30分から午後5時までとなっております。

おかげ様で目標達成

献血にご協力
ありがとうございました



今年度の献血達成本数は、皆様のご協力により目標本数600本を上回る604本で、106・71%の達成率となりました。心より深く感謝申し上げます。なお、来年度の目標本数は600本です。より一層のご協力をお願いします。

昨年12月13日の献血者は66人でした。ご協力に感謝いたします。(太字は400ml献血者)

●日本精密加工(18人)
太田真 森合昌弘 車田信 味戸勇雄 吉村さえ子 滝田徳実 山本知武 野崎キン子 円谷明美 箭内勲 草野美紀子 渡辺幸雄 斉藤浩正 浅倉竹三 須釜美恵子 肥田野淑子 平塚日出子 伊藤フミエ

●竜崎公民館前(5人)
草野義房 渡辺梅代 上野光子

鈴木信子 鈴木英雄 ●加藤化工(5人)
仁部俊昭 倉鎌秀明 村越重雄 石井善義 瀧口恵子

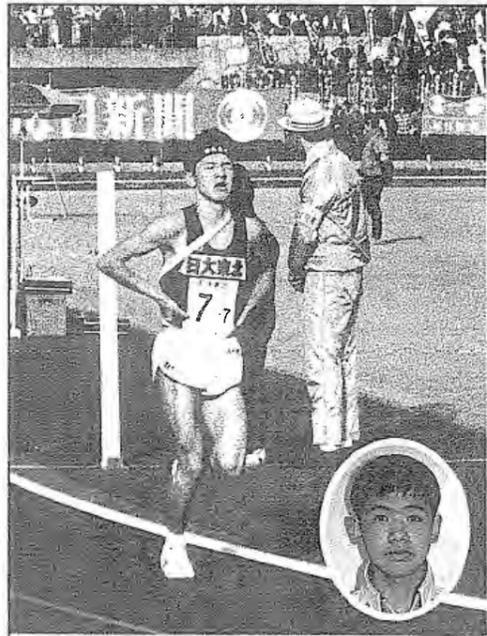
●中根精工(18人)
石井重一 近内正雄 吉村久子 小原ミヤ子 石森英子 溝井徹

増子正廣 円谷アヤ子 大川内忠雄 石森昌興 石井康広 藤田二三男 大和田勝幸 中村一美 大川内文江 吉田徳次 大野福一 佐藤熊寿

●玉川村役場(20人)
溝井陳彦 溝井康夫 三吉隆之 矢吹キミ子 車田ヨシ子 矢部照子 草野正博 増子真美 熊田富一 小針康敬 高林重和 岩谷勝雄 小原和彦 大越健一

車田光子 小針敬子 吉田正塩沢邦章 矢部常政 石森三男





鈴木 篤君 (竜崎)が大活躍

第42回全国高校駅伝競走大会

(写真は福島民報社提供)

京都市で行われた全国高校駅伝大会に福島県代表として日大東北高校が出場しました。この大会で一年生ながらアンカーを務めた鈴木篤君(竜崎)が、5キロを15分23秒で走り区間28位と大活躍。鈴木くんはふくしま駅伝でも玉川代表として出場しており、今年の走りが期待されます。

寒くても みんな元気に スキー教室

第16回を数える村民スキー教室が磐梯国際スキー場で開かれました。当日は寒さが厳しい日でしたが、参加者52人はスキークラブ員の指導のもと元気にスキーを楽しんでいました。この教室は玉川村公民館と玉川スキークラブが主催し、毎年行われています。



無病息災を祈って やっちゃん小屋

今年の無病息災を祈って村内2ヶ所で「やっちゃん小屋」が行われました。一つは南須釜の南宿に大将の大野寛樹くん(小4)以下7人が作ったもの(写真上)。もう一つは山小屋の的場に親方の石森友和くん(中2)以下4人が作ったものです(写真下)。当日は甘茶やもちがふるまわれ、最後に小屋を焼くのが習わしとなっています。



和気あいあいと

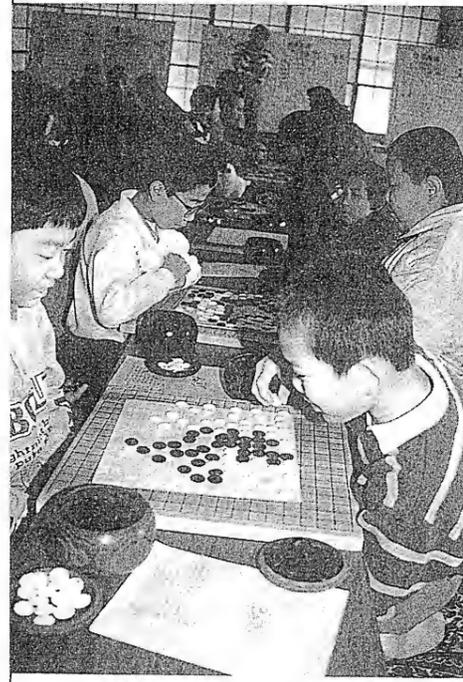
第10回婦人と老人のつどい

南須釜婦人会(石森京孝支部長)が主催する第10回婦人と老人の集いが須釜公民館で行われました。支部長あいさつ後、来賓からは「嫁不足を考えるうえからも嫁と姑の関係をより良くするこの会を長く続けていきたい」との声も。映画上映の後には婦人会の方々の手作り料理で昼食、午後はアトラクションで親睦を深めました。

一輪車で広がる交流の「輪」
川辺・四辻子供育成会
川辺子供育成会(矢部吉広会長)と四辻子供育成会(小原幸雄会長)が川辺小学校で一輪車乗りによる交流会を行いました。交流会では一輪車乗りの先輩四辻の子供たちが見本演技を披露した後に、お互いに手をつなぐなどして一輪車乗りで交流。最後に、交流会を申し込んだ川辺子供育成会の人たちがつくったカレーライスがふるまわれ、子供たちは楽しい一日を過ごしました。



盤上の熱き戦い 第29回玉川村民新春囲碁将棋大会



新春恒例の村民囲碁将棋大会が村就業改善センターで行われ、小学生からお年寄り59人が盤上に熱き戦いを展開しました。(入賞者は次のとおり)

囲碁の部			将棋の部		
級	優勝	準優勝	級	優勝	準優勝
A	塩沢正勝	小針 悟	A	双里正輝	車田永男
B	管野富博	塩沢裕史	B	森 文雄	矢部文徳
C	塩沢美保	吉村純一	C	小針佑輝	車田正弘
D	鈴木阿弥子	川田崇裕	D	溝井修一	高原雄紀
		大原詔和			橋本典夫
		安部 孝			高慶文雄
		吉村嘉広			須藤光久
		佐藤悦一			吉田和弘

安全で住みよい村に
玉川村消防団出初め式
玉川村消防団(小原明昭団長)の出初め式が、須釜小学校校庭で行われ団員275人が参加しました。また、昨年結成された婦人消防隊(大和田昭子隊長)も参加し、今年一年の無火災を誓い合いました。





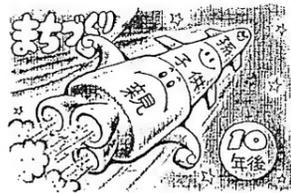
■著者紹介■

萩原 茂裕 (はぎわら しげひろ)
1929年北海道旭川市生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。経営コンサルタント時代から地域開発・ふるさとづくりを手がける。現在、「日本ふるさと塾」を主宰し、まちづくりのプランナーとして、数多くの地方公共団体の地域づくり基本計画、実施計画などの策定に携わる。蓮沼門三社会教育賞受賞。著書に「手づくりのふるさと」、「日本人とまちづくり」、「レッツ・ラブ運動の展開」、「第四の教育～ふるさと教育～」などがある。

子供や孫への「贈り物、お互いの力でまちづくり」⑩

「その場限りのまちづくりはやめよう」

人生というのは、自分だけのためにあると思いがちですが、そうではありません。子供や孫たちに継続していくのが人生です。これは企業にも、そしてまちづくりにいえることです。わたしたちは後に続く者たちのためにいまを生き、やるべきことをやるのです。道路や橋をつくるのも、学校や病院を建てることも、森や川を大切に豊かな自然を残すことも、みんな子供や孫たちを信頼して、後世につなげていくためです。ところが、現在ではなかなかこうはいきません。そのときだけ、その場限りのまちづくりに終始して、後に続かないのがほ



後世につなげよう その本当のまちづくり

長野県の野沢温泉村——いまは全国でも有数といわれるほど、豊かで素晴らしい村になりました。この先輩たちが村おこしのスタートを切るときにまず第一に考えたことは、「この村に子供や孫たちが、生き残れるだろうか!」ということでした。子供や孫たちの将来を思ってこそ、まちづくりは動き出すのです。いま、まちづくりのために始めたことは、何年後、いや何十年後に、子供や孫たちの代で実を結ぶことのほうが多いです。言い換えれば、まちづくりは、子供や孫たちへの最大の贈り物だといってもいいでしょう。

将来を考えて スタートを切る

長が立ち上がって、こういういいました。「いままで、ぼくはこの町が好きになりました。ぼくは将来、東京の大学に行きたいと思っています。ふるさとへ帰ってこれないかもしれないけれども勉強したり、仕事をしたりしているときに、ふるさとに役立つことがあったら、それをふるさとへ送る努力をしたいと思っています。」私は胸が熱くなりました。自分の生まれたふるさとを思う、純粹な心に感動しました。よくUターンといいますが、頭脳と心のUターンもできるのだと、そのとき、その中学生から教わりました。まちづくりは、今日、明日に成功することではありません。「十年後のこのまちを見てください」そうした気持ちで原点にあるかにかかっているのだと思います。素晴らしい「贈り物」をつくるために、計画を立てるときには、ぜひ、子供や孫たちのことを考えてみてください。きっと、将来を考えたまちづくりになると思います。



川辺小・たこあげ大会から

くらしの情報

ご利用下さい 「国の教育ローン」

Table with 6 columns: 利用いただける方, 融資額, 利率, 融資期間, 使いみち, 返済方法, 保証, 申込窓口. Content includes details about the National Education Loan program.

JR水郡線がワンマン運転に

JR水戸支社では、今春3月14日のダイヤ改正に合わせて、水郡線全線にわたり朝夕の一部列車を除きワンマン運転(運転士一人乗務)を実施します。これにより、ワンマンバスと同様に、乗車時に整理券を取り降車時に精算する方式を採用します。なお、ワンマン運転となる列車、具体的乗車方法については、列車時刻表等でお知らせします。(水郡線線区改善準備室)

年金受給者の集団指導会を行います

新しく年金を受けられる人に対して、受給の諸手続き等について指導会が行われます。期日と会場は次のとおりです。平成4年2月26日(水) 須賀川市文化センター 平成4年2月27日(木) 棚倉町中央公民館 平成4年2月28日(金) 石川町共同福祉施設 ※時間は、各会場とも午後1時30分から午後3時30分まで

新白河駅前広場内の駐車場利用について

東北新幹線新白河駅前広場内の駐車場は送迎用のものですが、より便利にするために1月中旬から3月末日(予定)までの期間整備工事を行うため閉鎖します。なお、工事完了後は、送迎用車両の30分以内の駐車以外は駐車できなくなります。また、利用時間は午前8時から午後6時までとなり時間外は閉鎖となりますのでご注意ください。(西郷村都市計画課)

耳慣れない カタカナ食品

この頃、耳慣れないカタカナ食品に戸惑うことがあります。そのいくつかを紹介します。●コピー食品...本物に似せて作った食品(疑似、加工品)のことです。近年、カニ足をはじめ、イクラ・数の子・からすみ・キャビア・はたて貝柱などに水産物のコピー食品が数多く出回っています。例えば、イクラは鮭の卵ですが、コピーは海藻の成分と植物油を主原料とし、それに着色したものです。購入の際は、表示や原材料などをよく見て選ぶたいものです。●ハイブリッド食品...メンデルの遺伝の法則(優性の法則)を利用した食品です。つまり雑種一代(F1)は異なる品種のかけあわせによって一代目は、その両親より優秀であるという雑種強勢遺伝の法則を利用して作られるものです。野菜のトウモロコシ・青首大根・トマト・カイワレ大根・玉ネギ・キャベツなど多くのものがあげられます。●フチ食品...独り暮らしや家族が別々のものを食べるなどの傾向に対応した、少量の製品及び包装タイプのことです。

自衛官を募集

2等陸・海・空士
募集期間 平成4年3月31日迄
試験期日 毎日(日曜日、土曜日及び祝祭日を除く)実施する。
詳しくは、役場総務課または郡山募集事務所まで、お問い合わせ下さい。
0249-321424

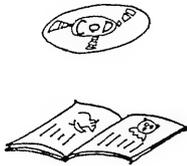
所得税の確定申告 正しくお早めに

平成3年度分の所得税の確定申告は、2月16日(日)から3月16日(月)までです。期限間近になりますと税務署は大変混雑しますので、申告は早めに済ませて下さい。期限までに申告をしなかったり、誤った申告をしたりしますと、不足の税金だけでなく加算税や延滞税も納めなければなりません。自分の所得の状況を最もよく知っているのは、納税者の皆さん自身です。期限内に正しい申告と納税をしましょう。(税務署)

2月・3月の健康ごよみ

- 2月
- 18日(火) 三種混合予防接種 (保)
午後1時30分
 - 19日(水) 母親教室 (保)
午前9時15分
 - 20日(木) 三種混合予防接種 (須)
午後1時30分
 - 21日(金) 1歳6カ月児健診
午後1時30分
- 3月
- 1日(日) 血圧デー
 - 13日(金) 乳幼児健康相談 (保)
午前9時30分
乳児健診 (保)
午後1時

(保)：保健センター
(須)：須釜公民館



※カタカナ話
オーケシヨン…競売
オペレーシヨン…作用。働き。
手術。軍事行動。作戦。

村のようす (4年1月1日現在)

- 1,681戸 (-1)
- 7,673人 (±0)
- 3,792人 (-6)
- 3,881人 (+6)



左記の方々から社会福祉活動資金として寄附をいただきました。厚く御礼申し上げます。

記

- 南須釜の真野目義勝さんから 二万円
- 川辺の須藤喜市さんから 十万円

寄付
ありがとうございます
ご協力します

- 岩法寺の村越正憲さんから 二万円
- 南須釜の大野清良さんから 二万円
- 岩法寺の大竹与吉さんから 三万円

(村社会福祉協議会)

耳と目で

世界の童話と音楽を

玉川村公民館では、絵本とCD(コンパクトディスク)がセットになった童話集を購入しました。

クラシック音楽にまつわる童話「クルミ割り人形」や「眠れる森の美女」などを、美しい音楽と一緒に耳と目で楽しむことができます。

一般の図書と同じ手続きで貸出しますので、ご利用下さい。

～泉保育所から～ 追加募集します

先に、平成4年度泉保育所の入所募集を行いました。3歳児にまだ余裕がありますので追加募集いたします。

入所希望者は、3月10日までに役場住民課へ申し込んで下さい。

今月の納税

- 国民年金保険料 2月分
 - 固定資産税 第4期
 - 国民健康保険税 第8期
- (納期限は2月25日(火)です。忘れずに納めましょう。)

お誕生おめでとう ございます

(12月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	矢部 麻衣	禎 樹
小高	関根 聡子	英 喜
〃	石井 裕美	義 一郎
岩法寺	高橋 聡子	利 之
〃	湯澤 亮二	武 真
竜崎	根本 莉衣	真 次
〃	湯澤 麻衣	

おくやみ 申し上げます

(12月届出分)

地区	死亡者氏名	年歳	世帯主名
川辺	須藤 善之	58	良 男
中	首藤 辰男	63	
岩法寺	村越 博	84	正 憲
〃	大竹 正一	73	与 吉
竜崎	鈴木 誠吉	80	三 善
南須釜	真野目ハルヨ	75	義 勝
〃	大野 千秋	82	清 良